2015 年 10 月 8 日(木) 経済・マーケットニュースの専門チャンネル 日経 CNBC『昼エクスプレス』の「投信 NAVI」で、当社の「朝日 Nvest グローバル バリュー株オープン(愛称:Avest-E(エーベスト・イー))」が取り上げられました。

番組の中では、当社の公募ファンド「朝日 Nvest グローバル バリュー株オープン(愛称:Avest-E(エーベスト・イー))」について、当社委託運用グループチーフが番組キャスターの質問に答えております。以下は、その内容を抜粋・要約したものとなっております。
(※回答内容については全て放映時点(2015 年 10 月 8 日現在)のものです。)

Q このところの相場調整はバリュー投資にとって絶好のチャンスと思われるが、どのように見ていますか?

最近株式市場のボラティリティーが高まっていますが、むしろ、ここ 2-3 年、ボラティリティーの低い状態が続いていたことのほうが不自然でした。現在は、中国を理由に株式市場が調整局面に入っていますが、米国では、過去平均すると大体 1 年半に一度の頻度で、10%の調整をしています。
今回の調整も、通常のマーケットの動きの範囲内であり、ハリス・アソシエイツ社も、冷静に運用しています。

Q それでは足元、実際にどのような投資行動を取っていますか?

新興国でビジネス展開する企業の株価がアンダーパフォームしており、ここ 2-3 カ月間は、そのような銘柄を買い増ししています。具体的には、韓国のサムスン電子、ドイツのダイムラーなどです。
また、今回の調整局面で、当ファンドでは初めて中国の銘柄であるバイドゥを買いました。上場国は米国です。バイドゥは、中国のインターネット検索の大手で、中国では 80%のシェアを持っています。中国のインターネット普及率はまだ 50%程度であり、構造的に伸びる余地が大きいビジネスを行っています。

Q ファンドの組み入れ上位銘柄に関して、現在、注目しているテーマは?

ポートフォリオは完全に個別銘柄選択の積み上げの結果ではありますが、業種的には、以前から魅力的と見ているのは金融株です。米国で利上げが行われ、長期金利が上昇していけば利ざやの拡大が見込まれます。足元は長期金利が低下しているためアンダーパフォームしていますが、株価の上昇余地は大きいと見ています。
地域的には、欧州株が魅力的です。欧州企業の収益のサイクルのピークは、まだまだこれから先と見ており、足元の株価調整で魅力度が増しています。
グローバルに見て、バリュー投資家にとって魅力度が高まった銘柄が出てきており、現在の相場状況はバリュー投資家にとってはポジティブです。

Q 投資対象国は欧米中心だが、新興国銘柄の組み入れを増やす考えは?

基本的にはまだ先進国中心の運用になります。中国株を買いましたが、新興国の銘柄がバイ・リストに数多く入っているというわけではありません。先進国の銘柄で、新興国で事業を行っている銘柄のほうが、バリュエーションやコーポレード・ガバナンスの観点からも魅力的です。

Q 設定来で見ると、参考指数の 25%を大幅に上回る 338%の上昇と、非常に高いパフォーマンスを実現しています。ただし、この 1 年は参考指数並みと、やや苦戦の模様です。その理由はどこにあると考えますか?

ここ 1 年では、特に直近の 3 カ月間のパフォーマンスが足を引っ張りました。新興国へのエクスポージャーが懸念された銘柄が下落したことや、金融株のパフォーマンスが冴えません。全体として、マクロイベントによるセンチメント悪化の影響が大きかったと思います。
もっとも、本来の企業価値は、株価のようなスピードで変化することはないですし、株価は、本来の企業価値と違う方向に動くことさえあります。
ハリス・アソシエイツ社の運用は、本源的価値に対して大幅に割安な銘柄を長期的視点に立って保有するのが基本です。組み入れ上位銘柄もこの 1 年で半数以上変わっていません。
このような長期スタンスに立った運用を行うことで、これまで長期的に良好な運用成果を上げることができたと考えています。

Q 投信評価機関、モーニングスター社の朝倉社長から、当ファンドについては星3つ（最高評価）の高評価をいただきました。ご感想を？

高い評価をいただきましてありがとうございます。
バリュー投資における銘柄選択能力といっても、その本質は、日々の地道なリサーチの努力の積み重ねでしかありません。ここ半年ほどはパフォーマンスが苦戦していますが、当ファンドの運用スタイルは、長期的に投資家の皆様に報いるものと確信しています。足元、当ファンドへの資金流入が続いていることも、心強く思っています。
当ファンドでは、今後とも、一貫した投資スタイルで、運用を行って参ります。

※ 上記評価は過去一定期間の実績の分析等に基づいた評価であり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

ファンドのご案内（リスク・手数料等）



1510182